

エルサルバドル政治経済月報 (2024 年 2 月分)

2024 年 3 月
在エルサルバドル大使館

内政

1. ブケレ大統領候補による国立宮殿前での実質的勝利宣言

2 月 4 日 22 時 15 分過ぎ、ブケレ大統領候補（現大統領（休職中））は、国立宮殿のテラスの前（balcón）でガブリエラ夫人を伴い、以下のとおり今般の大統領選挙に係る実質的勝利宣言を行った。

- (1) 得票率 85%での大統領選出は民主主義の歴史で類を見ない出来事であり、国会議員選挙では少なくとも 60 議席中 58 議席を獲得する見込み。また、民主主義のシステムで一党制を成し遂げた初めての国となる。
- (2) エルサルバドルは全ての国の選択を尊重する他、援助や支援を求めない代わりに、それらの国々が我々の選択を尊重することを要求する。
- (3) 冷戦の代理戦争の後の和平合意はまがい物であって真なる平和は訪れなかった。国際社会や NGO は誠実な国民よりもギャング集団の人権を重要視している。
- (4) エルサルバドルは小さな国にも拘らず、自ら課題を解決できる力を有しており、世界の見本となり続けている。

2. 大統領選挙の公式結果発表（最高選挙管理委員会（TSE）プレスリリース）

2 月 9 日、最高選挙管理委員会（TSE）は、2024 年エルサルバドル大統領選挙の公式結果をプレスリリースにて発出した。

- (1) ブケレ候補（新思想党：Nuevas Ideas）：2,701,725 票（得票率：82.66%）
- (2) フローレス候補（ファラブンド・マルティ民族解放戦線（FMLN））：204,167 票（得票率：6.25%）
- (3) サンチェス候補（国民共和同盟（ARENA））：177,881 票（得票率：5.44%）
- (4) パラダ候補（Nuestro Tiempo 党）：65,076 票（得票率：1.99%）
- (5) 無効票：60,027 票（1.84%）
- (6) レンデーロス候補（団結力党（Fuerza Solidaria））：23,473 票（得票率：0.72%）
- (7) ムリージョ候補（エルサルバドル友好友愛党（FPS））：19,293 票（得票率：0.59%）
- (8) 棄権票：15,064 票（0.46%）
- (9) 選挙人名簿と有権者の身元不一致の疑い：1,760 票（0.05%）

3. 国会議員選挙の公式結果（最高選挙管理委員会（TSE）発表）

2 月 19 日、最高選挙管理委員会（TSE）は、2024 年国会議員選挙の公式結果を、国営放送「カナル 10」にて発表した。

- (1) 新思想党（NI）：54 議席
- (2) 国民団結党（PNC）：2 議席
- (3) キリスト教民主党（PDC）：1 議席
- (4) 国民共和同盟（ARENA）：2 議席
- (5) VAMOS 党：1 議席
- (6) Nuestro Tiempo 党：0 議席
- (7) 団結力党（FS）：0 議席
- (8) ファラブンド・マルティ民族解放戦線（FMLN）：0 議席

(9) 民主革命党 (CD) : 0 議席

(10) 国民のための大連合 (GANA) : 0 議席

外交

1. 各国によるブケレ候補の大統領選出に対する祝意伝達等 (各国政府 SNS 他)

(1) 米国 (ブリンケン国務長官)

2月5日、SNSにてブケレ候補の勝利に祝意を表明するとともに、米国務省によれば、2月8日に同長官はブケレ候補に対し電話で直接祝意を伝達。

(2) EU (スターノ欧州対外行動局報道官)

2月5日、SNSにてブケレ候補の勝利に祝意を表明。

(3) 英国 (ラトリー米州・カリブ海担当次官)

2月6日、SNSにてブケレ候補の勝利に祝意を表明。

(4) 中国 (習近平国家主席)

2月7日、ナジブ・ブケレ大統領宛に再選を祝福する書簡を発出。

(5) カタール (タミーム首長)

2月6日、SNSにてブケレ大統領の勝利に祝意を表明。

(6) イスラエル (イスラエル政府)

2月6日、SNSにてブケレ大統領の勝利に祝意を表明

(7) アルマグロ米州機構 (OAS) 事務総長

2月5日、SNSにてブケレ候補の勝利に祝意を表明。

(8) 中米統合機構 (SICA) 事務局

2月6日、ブケレ候補及びウジョア副大統領候補の選出に祝意を表明。

(9) 中米からは、メキシコ (2月4日、バルセナ外相)、グアテマラ (2月4日、アレバロ大統領)、ホンジュラス (2月4日、カストロ大統領)、コスタリカ (2月5日、外務省)、パナマ (2月4日、コルティソ大統領)、ベリーズ (2月4日、外務省)、南米からはアルゼンチン (2月5日、外務省)、ペルー (2月4日、外務省)、パラグアイ (2月4日、ペーニャ大統領)、エクアドル (2月4日、外務省) より祝意が表明。

(10) 一方、ドイツの政府報道官は、2月5日、原則として我々は常に国家元首または政府に再選を祝福するが、このような特殊な場合 (caso peculiar) では、時機を見て祝意するだろうと述べた。

(11) 在エルサルバドル日本大使館は、2月5日、ブケレ候補の選出への祝意と二国間関係強化の取り組みを表す旨メッセージを当館フェイスブックにて発信した。

2. ピニェラ・チリ前大統領のヘリコプター墜落事故に対する弔意表明 (大統領府 SNS)

2月7日、エルサルバドル政府は、前日に起きたヘリコプター墜落事故によるセバスティアン・ピニェラ・チリ前大統領の訃報に接し、弔意メッセージ及び弔意書簡を発出した。

3. ミラ外務副大臣と Choo Won Hoon 当地韓国大使の協議 (ミラ外務副大臣 SNS)

2月8日、ミラ外務副大臣は、当地韓国大使との間で、二国間関係の更なる強化を目的として、経済及び協力分野における関心あるテーマを協議した旨発信した。

4. ロシア及びキューバとの教育分野での関係強化 (2月10日付ディアリオ・エルサルバドル紙)

エルサルバドル教育省は、ロシア教育省との間で学位相互認証協定締結に向けた協議を実施、また、当国ヘラルド・バリオス大 (UGB) は、キューバの国際関係高等学院 (ISRI) と教員の研修・交流を促進する目的で学術協力協定を締結。

5. サウジ開発基金による対エルサルバドル融資の承認 (当国国会プレスリリース他)

2月20日、当国国会は、サウジ開発基金（SFD）による8,300ドルの対エルサルバドル融資（償還期間：25年（5年の据置期間を含む）、金利：年1.5%）を承認、この融資の用途としては、パイオガス発電施設整備等の新たな再生可能エネルギー分野への投資を行うもの。

6. 保守政治活動会議（CPAC）におけるブケレ大統領のスピーチ

2月22日、ブケレ大統領（休職中）は、米共和党の保守主義団体がワシントン近郊で開催した政治イベント「保守政治活動会議（CPAC）」に登壇し、約25分に亘る以下のスピーチを行った。

(1)私（ブケレ大統領）は、エルサルバドルでグローバリズムの動きを止めることに成功した。米国でもグローバリズムの動きを止めたいのであれば、闘う必要がある。

(2)エルサルバドルはジョージ・ソロス氏を筆頭とする、国際社会、NGO やフェイクニュースとの闘いに勝利し「世界で最も危険な国」から「西半球で最も安全な国」に生まれ変わった。米国も同様、彼らとの闘いに勝利することを期待する。

(3)米政府は紙幣を大量に刷り続けているにも拘わらず、高い税金を要求している。これは、米国民が政府に資金を提供しているとの幻想を持ち続けるための米政府の策略である。

経済

当地経済アナリストによる当国の経済状況（2月15日付ラ・プレンサ・グラフィカ紙）

ルイス・メンブレニョ・コンサルティング会社代表のルイス・メンブレニョ経済アナリストは、当国経済状況に係る以下の寄稿文を掲載した。

(1)1996年から2023年のエルサルバドルの平均経済成長率は2%であり、低い経済成長率ではインフォーマル・セクターに吸収されている潜在的な失業者や米国の移民流出を抑えられない。

(2)エルサルバドルの課題は国内外からの投資誘致であり、治安のみならず、政情及び法的不安定性が投資誘致を妨げている要因。海外直接投資は中米で最も低い。

(3)エルサルバドルが発展するには、IMF との借款交渉成立、透明性のある政府を目指す他、例外措置体制を無期限に延長しないことである。